

1580 | デザインシステム研究

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

今泉洋教授、清水恒平准教授

授業の概要と目標

「情報システム基礎」「マルチメディア表現」「メディア環境論」「情報通信ネットワーク」などの科目の学習内容を踏まえ、マルチメディアやネットワークを活用した表現、情報の提示の仕方など、現在は個別に存在している各分野の知識・技術を組み合わせ、デザイン・美術の分野への有効な活用方法を探求することを目的とする。

「卒業制作」の前段階として、課題においては各自が自由にテーマを設定しレポートを作成する。面接授業ではオムニバス形式の講義や、各自の研究テーマに関するゼミ形式での報告、討議を行う。

課題の概要

○通信授業課題

マルチメディアやネットワークを活用した表現、情報提示の仕方など複数の分野にまたがる研究テーマを各自が自由に設定し、文献、資料調査、フィールドワークなどを行い、レポートを作成する。

○面接授業課題

初日に各自の通信授業課題についての発表を行い、それを基にディスカッションを行う。その後、さまざまなデザインの分野に関する講義と課題制作をオムニバス形式で行う。

*課題については、学習指導書『デザインシステム研究 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

デザイン、情報学の分野から、興味を持ったテーマを複数選び、その分野に関する調査を行った後、課題レポートを制作する。

[面接授業]

各日に設定されたテーマに関する講義と課題制作を行う。通信課題のテーマ案を持参すること。

○IP オンラインプラス [中間] —BBS 上での中間アドバイス

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて制作中の課題に対して中間アドバイスを行う。

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題、および発表・ディスカッションの発言等の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] デザインシステムコース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。

[備 考] デザイン情報学科デザインシステムコース 4 年次必修科目。

以下の条件を満たすコンピュータ、ソフトウェア、周辺機器を所有するか、もしくは利用できること。

・Macintosh または Windows で、少なくとも 300 万画素画像をストレスなく処理できるもの。

・画像の編集作業ができるソフトウェア（Adobe Photoshop）。

・ページレイアウト用ソフトウェア（Adobe Illustrator、Indesign など）。

・インターネットに接続して利用できること。

※スクーリングでは大学の PC を使用することが可能だが、自分の PC（ノート PC）を持参できる者は、持参することをお勧めする。

教材等

教科書：『デザイン情報学入門』（日本規格協会 2000 年）

学習指導書：『デザインシステム研究 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）